
BLEACH 煌めく魂の旋律

綾瀬リン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

BLEACH 煌めく魂の旋律

【Nコード】

N9588E

【作者名】

綾瀬リン

【あらすじ】

朝比奈綾音は音楽の感性に長けた中学二年生だった。彼女はある日、ひよんな事から死んでしまう。肉体を抜けて、魂となった彼女は今まで目に見えなかった靈魂達の存在を目の当たりにする……。残された大切な人達を悪霊から護る力を得るために彼女は「死神」を目指すことを決意する……。

episode 0：守り抜く決意（前書き）

このハナシは久保帯人原作のBLEACHの世界が舞台です。オリジナルではない事をご了承ください。

episode：守り抜く決意

「人は死んだら、お星様になって、大切な人を天国から見守るんだよ。」

そう言ってたのはアタシのばあちゃんだった。

心臓に病氣持つてる、いつでもコロツと逝っちゃいそうな……

そう言う人。

……昔はそうだと思ってたよ。

尸魂界に来るまでは……

あのな、ばあちゃん。人は死んでもお星さんにはならないんだってよ。

天国からいつでも見守っているほどの暇なんか無いのよ、これが。

でもねえ……。アタシ、決めたんだ。

父ちゃんも、母ちゃんも、光太郎も沙智子も……

そして、ばあちゃんも．．．約束するよ。

みんな守ってあげる。

アタシ、「死神」になつてみせるから．．．。

e p i s o d e 0 : 守り抜く決意（後書き）

宜しく願います。

episode 1 アタシが死んだ日

2ヶ月前。アタシは死んじゃった。

死因は「脳溢血」だそうだ。

アタシは軽音楽部に入っていて・・・ボーカルで、毎日歌ってた。本当に楽しかった。校内ライブで歌った日は特に最高だった。

アタシの歌声をみんなが聞いてくれた。

来てくれたみんなが盛り上げてくれて。

こんな日が毎日続いてくれる事がうれしくて。

ただ、幸せだった。

それなのに・・・やっぱりアタシには、まだわからない。
どうして死んでしまったのか。

いつも通りに部活動を開始して・・・

そうしたら、PTAの役員たちが乗りこんできて。

「学業に差しさわりのあるため、これより軽音楽部を強制廃部にします。」

それだけを冷たく言い放った。

言葉の意味が分かんない。

「なんでだよ！？ふ、ふざけんな！」

「うちの居場所をつぶしてどうするつもりだよ！」

「オメーら関係ねえだろーが！出てけ！」

口々に反論する子達に向かって生活指導の金井が叫ぶ

「うるさい！我が校の雰陰気の向上のためだ！お前らの事なんていちいち考えてられるか！」

アタシが呆然としている間に、先生達と、役員達が楽器や、今まで作ってきた楽譜を取り上げにやってくる。

みんな、必死で抵抗している。

中には金井を蹴り飛ばす子も。

叫んで抵抗する子も。

楽譜や楽器を護る子もいた。

でも、大人達は抵抗する子達を押さえつけては、
どっかへ連行していき、

全てを奪い去っていった。

気づいたんだ……。

アタシ、呆然としている場合じゃあない……

軽音楽部を……。

楽器を……。

楽譜を・・・。

部員達を
なかま

護り抜くんだって。
まも

そう考えた次の瞬間から、

アタシは後ろで勝ち誇った笑みを浮かべるPTA会長に飛びかかっていった。

拳にありったけの力と怒りを込めて・・・

プツン・・・

何かが切れる音。

暗転して沈んでいく意識。

ぼやけて行く周りの景色。

アタシが最後に聞いた音は

「あ、綾音ッ！！綾音！！」

という、今にも泣きそうな声。

アタシの親友の、真希の声だった。

e p i s o d e 1 アタシが死んだ日（後書き）

更新が遅くてすいませんでした。

episode 2 動かない自分

アタシの意識が戻った。

息苦しい。体がとても動かしにくい。

フラフラする。

でも、ずっとこんな倒れたままではいられない。

さつきから、大人も中学生も関係なしにアタシをとりかこんで顔を覗き込んでる。

「朝比奈！オイ、朝比奈……！？」

「綾音、ねえ？あ、あや……ね……！？」

みんなそろいもそろって顔面蒼白。

でもって、なんか変なことやってるよ。

ユツサユツサと肩をゆらす金井。

「AEDよ！早く、持ってきて頂戴！！ほ、ほらあ！救急車も早く呼びなさいよお！」

バカみたいにあわてふためくPTA会長が可笑しい。

へ、ざまゝみる！

でも、しばらくすると本当にAEDが来た。

アタシはちよつと慌てて無事だと伝えようとした。

体を勢いよく起こす。

体がスツとした。

やけに体が軽い。

勢いあまってそのまま前に突っ込む。

「つたたたた……。」

体を起こして後ろを振り返る。

そこに顔面蒼白で倒れている小柄な少女。

それは・・・紛れもなく

アタシ自身だった。

「え．．．．．？」

どう．．．なってるの．．．．．？

なに．．．．コレ．．．．．？

アタシは、今。動かない自分を見下ろしている．．．．。

倒れているのがアタシなら、アタシは何．．．．？

今のアタシがアタシなら、その倒れているのは何．．．．？

訳がわからずに混乱して、ただそこに立ちすくんでいた。

「A E D！はやく起動させて！！」

そこに転がってるアタシにA E Dが取り付けられた。

それに電気ショックを与える。

「3、2、1・・・！！」

ドンッ

転がったアタシには・・・反応・・・無し。

今いるアタシにも・・・何も起こらない。

そうか・・・やっとわかった。

まさかと思っていたけれど・・・。。。

・・・アタシ、今本当に幽体離脱してる・・・？

要するに・・・今のアタシは

幽霊？

episode 3 届かない声

しばらくして

救急隊が到着して、

動かないアタシは担架に乘せられて、運ばれていった……。

「綾音……！？イヤだ……死なないでよ！綾音！！ねえ！？綾音ッ！？綾音！！」

真希が酷く取り乱してる。

いつも穏やかでやさしい真希が……。

今まで真希に連れ添ってきた中で、こんなに取り乱してるトコは今、初めて見た。

「待つてよ真希・・・！？アタシ・・・死んだわけじゃないんだつてば！！アタシはほら・・・ここにいてしょ・・・？」

真希の目の前に立ったのに・・・。

こんなにも必死に叫んでるのに・・・。

真希も、金井も、部員の皆も・・・

誰一人としてアタシに気づかない。

アタシ・・・アタシは・・・ホントに・・・

死んじゃったの？

「柏木、落ち着け！！朝比奈は今、救急車で搬送されてるそうだな？お、落ち着けよ。」

金井の震えた声。必死に真希を^{なだ}宥めてる

「ふざけんな！綾音はアンタ達のせいでこんな目に遭ったんだ！！」

ギターの陸が叫ぶ。

「うるさい！！黙れ黙れ黙れーッ！！」

裏返った声でギヤーギヤーさわぐ金井。

ねえ・・・？アタシ、本当にどうなってるの？

アタシはここに立っていて、みんなが見えるのに・・・。

みんなはアタシがみえないの？

みんなに見えるのは

担架に乘せられて救急車に運ばれていった

動かないアタシだけなの？

みんな・・・違うよ・・・。

それは、アタシじゃない！！

みんなの見てるのは・・・意思の無い・・・ただの・・・。

アタシの肉体^{カラダ}・・・？

「ああ・・・ああ・・・ああ・・・。」

絶望に満ちた顔をして、PTA会長がフラフラとした足取りで音楽室に入ってきた。

「会長さんよ・・・？綾音は・・・どーなっただよ？」

ドラムの仁じんがすごみのある声で聞く。

「朝比奈綾音さんは・・・病院に搬送されたけれども・・・。」

「・・・既に息を引き取っていたって・・・。」

うそ．．．．．でしょ．．？

イヤだよ．．．そんなの．．．夢でしょ．．．？

アタシ、ちゃんとここにいますよ？

なのに．．．

どうして．．．？

アタシは今、此処ココにいるんだよ．．．？

嫌だ．．．!!

アタシ．．．死んでなんかいないよ!!

なのにどうして．．．？

アタシはっ．．．!!

．．．イヤだよ。

本当はただの夕子の悪い悪夢なんですよ．．．？

悪夢なら．．．はやく覚めてよ．．．ッ！！

お願いだからッ．．．！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9588e/>

BLEACH 煌めく魂の旋律

2010年10月10日13時09分発行